

川崎市×那覇市 友好都市提携 30 周年／首里城正殿復元完成 記念

10 月 4 日、琉球王国と川崎宿を結ぶ歴史ロマン「川崎宿江戸上り行列」開催

176 年ぶりに東海道に現出する琉球宮廷音楽「路次楽」一行と
国の重要無形文化財「組踊」保持者が魅せる一幕の「動く浮世絵」世界



重要無形文化財「組踊」保持者 宮城茂雄氏



琉球大学附属図書館所蔵『琉球人行列図錦絵』

川崎宿江戸上り行列実行委員会（委員長：金城宏淳／一般財団法人川崎沖縄県人会 会長）は、川崎市・那覇市友好都市提携 30 周年、および首里城正殿復元完成を記念し、2026 年 10 月 4 日に、かつて東海道川崎宿を歩んだ琉球外交使節の矜持を今に伝える歴史ロマン「川崎宿江戸上り行列」を実施します。本イベントは、川崎市主催の 30 周年記念事業（ちゃんぷるーまつり／記念式典）と連携しつつ、「東海道川崎宿場まつり」と同日に開催します（後援：那覇市／川崎市）。



首里王府阿波連路次楽御座楽保存会

本行列では、1879 年の琉球王国終焉以降途絶え「幻の宮廷音楽」と呼ばれた琉球王国の道中楽「路次楽（るじがく）」を 1977 年に復活させた「首里王府阿波連路次楽御座楽保存会」が沖縄より訪れて川崎宿始まりの地・砂子を出立、演奏披露します。初披露となる「江戸上り（史料上表記は「江戸立」）時の路次楽装束」は、現存しない衣装や道具立てを、残された錦絵等の絵画資料を手がかりに、川崎沖縄県人会有志が資料読解に挑み沖縄の組踊衣裳第一人者や国選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」保存技術者が手探りで仕立てました。



さらには、本年 7 月に国の重要無形文化財「組踊」保持者（総合認定）に認定された宮城茂雄氏が特命を帯びた「儀衛正（ぎえいせい）」に扮して出演、東海道川崎宿の歴史保存に生涯を捧げた故・斎藤文夫氏の『川崎・砂子の里資料館』より出立し行列に合流、「東海道かわさき宿交流館」を目指します。使節団に扮する川崎沖縄芸能研究会をはじめとする有志たちとともに多文化共生の源流を華やかに演じます（武具は川崎市生活文化会館等の三線講師も務める唄者・指導者と「かわさきマイスター」認定者の工房が協同で製作）。

【10 月 4 日（日）行列運行概要】

ルート：砂子一丁目交差点 ～ 東海道川崎宿交差点

川崎宿由来の碑（砂子一丁目交差点）：10:30 路次楽を先頭に使節団出立
ラ・レーヴ砂子の里 前：宮城茂雄氏（儀衛正）の合流と、歴史劇の開幕
東海道かわさき宿交流館前：行列到着と結び的一幕



400年の時を呼び起こす本イベントの骨格（5つの柱）

【情熱】川崎と沖縄の専門家が手探りで挑む「江戸上り時の路次楽装束」の初再現

限られた資料と資金の中、川崎沖縄県人会有志が史料を精読し、沖縄の匠たち（糸満和美氏・金城裕幸氏・宮城優子氏・金城小百合氏・上原じゅん子氏・江洲のぶ子氏）と連携。代替素材の選定から手縫いまで、心血を注いで仕立て上げた「江戸上り時の路次楽装束」を、路次楽隊が今回初めて身にまといます。また儀礼用武具製作では川崎在住の匠たち（慶田城哲芳氏・五味川千鶴氏）に協力を依頼、行列の道具立てを支えます。

【音色】沖縄県選択無形民俗文化財「首里王府阿波連路次楽御座楽保存会」による路次楽披露

琉球王国時代、国王の御出等で奏でられた「路次楽」を1977年に手探りで復活させた阿波連本啓氏（川崎で芸歴開始）の遺志を継ぐ「首里王府阿波連路次楽御座楽保存会」が沖縄から集結、街道に響かせます。

【至芸】重要無形文化財「組踊」保持者・宮城茂雄氏が「儀衛正」として街道に降臨

今年7月に国の重要無形文化財「組踊」保持者（総合認定）に認定された組踊の名手・宮城茂雄氏を招聘。正殿に続き南殿北殿復元完成の暁には川崎を訪れるであろう江戸上り行列本隊の先触れの使者として特命を帯びた「儀衛正」に扮し、東海道を歩みます。宮城氏は2013年より「川崎沖縄芸能研究会」で指導を続け、川崎で32年ぶりの組踊上演を成功させた実績を持ちます。街道を舞台と見立てた今回は、本絵巻屈指的一幕となります。

【志】『川崎・砂子の里』からの「ハレの出立」

世界的な浮世絵コレクターであり、東海道川崎宿の歴史保存に生涯を捧げた故・斎藤文夫氏（2024年11月逝去）の『川崎・砂子の里資料館』（現在の斎藤文夫事務所）より宮城氏（儀衛正役）が出立します。琉球からの使者をもてなし、東海道という本舞台そして「交流館」へ送り出すという、「花道」が現出します。

【縁】川崎と沖縄を結ぶ「物語」

1924年に川崎へ移住して戦後に沖縄芸能の礎を築いた米須清仁氏（川崎沖縄芸能研究会初代会長）。1927年に川崎で沖縄芸能活動を始めた阿波連本啓氏。その系譜を継ぐ研究会有志が行列に随行し、行列には阿波連・米須双方の子孫も参加します。100年を超えて川崎に根付いた沖縄文化と川崎市民の融和の歴史絵巻です。

【前日連動企画】首里城復元考証の第一人者・田名真之氏 講演会

10月4日の行列鑑賞に先立ち、歴史的背景を学ぶ場として、前日10月3日（土）15:00より川崎市教育文化会館にて、田名真之氏特別講演会を開催します（入場無料）。詳細は別紙プレスリリースをご参照ください。

【発信主体・クレジット】

- 主催：川崎宿江戸上り行列実行委員会
- 共催：川崎沖縄県人会 川崎沖縄芸能研究会
- 後援：川崎市 那覇市

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

090-3437-9509（委員長：金城）

070-6518-6690（副委員長：木村） 090-8874-7481（副委員長：名嘉）

担当（事務局）：山川 夏子（合同会社まぶいワークス）

E-mail：kawasakiedonobori@gmail.com

演出担当：喜屋武 靖（合同会社まぶいワークス）

E-mail：mabuiworks@gmail.com



公式サイト

<https://kawasaki-edonobori.jp>

川崎宿江戸上り行列実行委員会 体制

委員長	金城 宏淳（一般財団法人川崎沖縄県人会 会長）
副委員長	名嘉 祥史子（川崎沖縄芸能研究会 会長） 比嘉 孝（一般財団法人川崎沖縄県人会 名誉会長） 木村 教義（川崎駅広域商店街連合会 専務理事） 北沢 仁美（東海道かわさき宿交流館 館長）
実行委員	田名 真之（前沖縄県立博物館・美術館長） 田中 英機（くらしき作陽大学客員教授） 三浦 淳（元公益財団法人川崎市産業振興財団理事長） 中村 茂（公益財団法人川崎市文化財団理事長） 青木 茂夫（一般社団法人川崎市観光協会専務理事） 中村 雅之（明治大学大学院兼任講師） 喜屋武 靖（映画監督／合同会社まぶいワークス代表） 大野 順美（一般社団法人ステージサポート沖縄代表） 中村 紀美子（川崎市総合文化団体連絡会会長） 鬼塚 保（川崎駅広域商店街連合会会長） 河野 宗清（川崎区文化協会会長） 藤田 智恵子（NPO 法人かわさき歴史ガイド協会理事長） 知念 義裕（NPO 法人かわさき歴史ガイド協会） 中村 紀子（NPO 法人かわさき歴史ガイド協会） 島田 秀雄（東海道かわさき宿交流副館長） 鈴木 よしえ（フリーアナウンサー） 屋良 朝信（文筆業・一般財団法人川崎沖縄県人会員） 堀 浩（川崎沖縄芸能研究会事務局長）
監 事	並里 典仁（横浜鶴見沖縄県人会 会長）
事務局	濱館 幸二（前・東海道かわさき宿交流館副館長） 山川 夏子（合同会社まぶいワークス 業務執行社員）
オブザーバー	川崎市市民文化局市民生活部多文化共生推進課 川崎区役所まちづくり推進部地域振興課
協力団体	一般財団法人川崎沖縄県人会 東海道かわさき宿交流館 川崎沖縄芸能研究会 公益財団法人川崎市文化財団 川崎駅広域商店街連合会 一般社団法人神奈川県観光協会 一般社団法人川崎市観光協会 東海道川崎宿場まつり実行委員会 アジア・太平洋文化交流ネットワーク in 沖縄
協力（個人）	関 洋（広島県人会役員・琉球民謡協会師範・沖縄歴史研究家）